ブルックリンの「こどもバレエ」発表会でオリジナル「白雪姫」を披露

ブルックリンで児童対象の日本語バレエ教室を開講している「こどもバレエ」（松原友紀子主宰）は6月7日、ウィリアムズバーグにあるセンター・フォー・パフォーマンス・リサーチで第13回発表会を開催した。今回は生徒が演出なども手掛けたオリジナル作品「白雪姫」を披露し、3歳から12歳まで計10人のダンサーが出演した。

白雪姫役の小川紅さん（9歳）や女王役の中村文さん（12歳）ら主要な役を演じた生徒は、口を揃えて「みんなで踊れたことが何よりも楽しかった」と語った。発表会を見守った生徒たちの保護者も、子どもたちの頑張りに温かい拍手を送っていた。発表会の最後には、同教室恒例のフリーズダンスで幕を閉じ、子どもも大人も音楽を聞きながら楽しく体を動かした。

発表会のあと同教室は夏休みに入り、9月から新学期がスタートするが、新規生徒も募集している。問い合わせ・詳細はウエブサイトhttps://www.kodomoballet.com参照。

希望を胸に卒園式
こどものくに幼稚園

こどものくに幼稚園（ウエストチェスター郡ホワイトプレーンズ）は16日、卒園式を行った。青い帽子とガウンを身にまとい、凛とした表情で並ぶ卒園児たち。その姿からは、これまで積み重ねてきた成長と自信が感じさせる。

証書授与では、園長先生から「おめでとうございます」と声をかけられると、子ども達は「ありがとうございます」としっかりと返事をし、一人ひとり堂々と卒園証書を受け取った。その立派な姿に、会場は温かな拍手に包まれた。また、参列していた在園児たちが前のめりになって卒園児の様子を見つめていた姿も印象的で、憧れの気持ちが伝わってくるようだった。

式の中では、幼稚園での思い出を発表する場面もあった。「おもちつきのきねがおもくなかったです。おもちはあんこがおいしかったです」など、日本やアメリカならではの行事や、友達と過ごした楽しい日々について、自分の言葉で一生懸命伝える子ども達。子ども達の言葉に耳を傾けながら、参列者はそれぞれに成長の軌跡を思い返し、胸を熱くしている様子。

最後は大きな拍手に見送られながら、新たな一歩を踏み出した卒園児たち。幼稚園で培った経験や思い出を胸に、それぞれの夢に向かって羽ばたいていく。教師は「これからも子ども達の未来が希望に満ちたものとなるよう、園として温かく見守り応援していきたいと思います」と話していた。

プリンストン日本語学校
古本市で本との出会いを楽しむ

プリンストン日本語学校（朽木史昌 文部科学省派遣校長）で14日、毎年恒例の古本市が開催された。

児童・生徒はもちろん、保護者にも人気のこのイベントでは、各家庭から寄付された古本を販売し、集まった収益はすべて学校に寄付され、学校運営に役立てられている。今年も段ボールおよそ50箱分の本が所狭しと並べられ、活気ある催しとなった。

古本の回収、管理、仕分け、そして当日の搬入・設営までを担ったのは保護者たち。当日は朝早くから会場に集まり、子供向けの絵本、児童書、小説などを作者名やジャンルごとに丁寧に並べて準備を整えた。

古本市が始まると、担任に引率された生徒たちが次々と訪れ、会場内は熱気に包まれた。生徒たちは、まるで宝探しをするかのように夢中で本を探し、気になる一冊を手に取ってはページをめくりながらじっくりと選んでいた。また、幼稚園部の子どもたちは保護者とともに来場し、親子で本を選ぶ姿も見られた。

目指せ！帰国生中学・高校受験の心得 18
NYからの志望校合格

「英語入試は万能ではない――「英語ができる」だけでは合格しない理由」

帰国生受験の相談を受けていると「英語が得意なので帰国生入試なら大丈夫ですよね」という声を耳にすることがあります。確かに、海外で生活している子どもたちにとって、英語力は大きな強みです。実際に、英語を活用できる入試制度を設けている学校も数多くあります。

しかし、英語力が高い生徒ほど多くの選択肢を持てる一方で、その選択肢を合格につなげている生徒たちは、英語以外の力も着実に積み上げています。多くの学校が見ているのは「英語ができるか」だけではなく、入学後に活躍できる生徒かどうかです。

たとえば、中学受験では英語を評価する入試方式であっても、算数や国語を課す学校が少なくありません。高校受験になるとその傾向はさらに強くなり、英語力に加えて、数学や国語の力が求められる場面が増えてきます。また「英語ができる」といっても、日常会話や現地校で培った英語力だけで十分とは限りません。学校によっては、語彙や文法、長文読解など、日本の受験英語に対応する力が求められることもあります。

実際、英語力という大きな強みを持ちながらも、思うような結果につながらない生徒もいます。その多くは、算数や数学、日本語の読解力に課題を抱えているケースです。逆に、英語力が突出していなくても、他教科とのバランスが取れている生徒が合格を勝ち取ることも珍しくありません。

また、面接や作文が課される学校もあります。そこでは英語力そのものではなく「自分の考えを伝える力」や「海外経験から何を学んだか」が見られます。単に英語を話せるだけではなく、その経験をどう自分の成長につなげているかが評価されるのです。

帰国生入試は、英語力を評価する制度であると同時に、海外での経験をどのように生かしてきたかを見る制度でもあります。だからこそ、受験準備では英語だけに目を向けるのではなく、算数・数学や国語、学校によっては理科や社会、そして「日本語で考える力」にも目を向ける必要があります。

英語は、帰国生にとって間違いなく大きな武器です。ただし、その武器を最大限に生かすためには、他教科とのバランスや、日本語で学ぶ力を同時に育てていくことが欠かせません。英語を磨くことと同じくらい、「英語以外」を意識すること。それが、帰国生入試で成功するための大切な視点なのです。

◇

プロフィール＝かわむらこういち＝1978年生まれ。早稲田アカデミーUSA取締役・ニューヨーク校現地代表。2002年に株式会社早稲田アカデミーに入社後、埼玉県内の校舎で小中高生に進学指導を行う。その後、高校受験部英語科目責任者として現行のカリキュラムやテストなどの基盤を整えた後、帰国生入試の専門部署である国際部に配属。英語専門校舎統括責任者を経て、23年3月より現職。

こどものくに幼稚園
♪夢をのせていま世界へ♪
50年の実績
異文化に暮らす幼児の健全な発育に欠かせない母国語の重要性は、意外と知られていないのが現状です。本園は心、知、体そして社会性をバランス良く発達させるために理想的な保育環境を追求して50年の実績を誇ります。研究を重ねたプログラムと献身的な教師陣が、世界にはばたく日本人を育むお手伝いをします。子どもたちの目の輝きが違います。ぜひ一度ご見学下さい。
途中入園についてのお問い合わせ、また園見学ご希望の場合は園にご連絡ください。
252 Soundview Avenue
White Plains, NY 10606
資料請求先： Tel: 914-949-0067
Fax: 914-949-0247
E-mail: kk@kodomony.org
URL: www.kodomony.org

みらい塾
ムリなく・ムダなく・楽しく
・忙しくても継続できる!
・海外で日本語力アップ!
オンラインクラス
www.miray109.com

ニューヨークと日本をつなぐ情操教育
楽しく学べて実力のつく
ピアノ・バイオリン・チェロ
3～4歳、5～6歳、初級・中級・上級・編入生
Jimbo Music Studio ☎201-461-6502
フォートリー・ボートワシントン

2026年度 NY育英学園 サマースクール
申し込み受付中!
●幼児部、小学部、英語、野球教室、Lake Greeleyキャンプの5つのプログラム
●未就園～中学生まで参加可能
●バス送迎あり
(NJ、NY、West Chesterエリア)
お問い合わせ
NY育英学園 Phone: 201-947-4832
E-mail: summerschool@nyikuei.org

ケネディ・インターナショナルスクール
Kennedy International School
全日制幼児クラス
2026年度出願受付中
ここがポイント!
•日英バイリンガルプログラム（2歳から5歳）
•朝8時から夕方6時までのお預かり
•ファイナンシャルエイドの制度あり
見学随時可能
225 East 43rd Street New York, NY 10017・(212)-681-7929
japaneseprogram@kennedyinternational.org